

特別装備の使い方

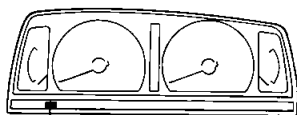
4輪ABS	101
SRSエアバッグ	102

4輪ABS

グラウンデに注文装備

急制動時やすべりやすい路面での制動時には、車輪がロックすることがあります。4輪ABSは、このような制動時の車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



ABS警告灯

ABS

エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。



処置

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき。

- 走行中に点灯したとき。

警告灯が点灯しているときは4輪ABSは作動せず、普通のブレーキとして作動します。



注意!

- 4輪ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があります。雨天時の高速走行やスリップしやすい氷雪路の走行には過信せず安全運転に心がけてください。

- 次のような場合などには4輪ABSの付いていない車両に比べて制動距離が長くなる場合がありますので、速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。

- ・ジャリ道、新雪路を走行しているとき
- ・タイヤチェーンを装着しているとき
- ・道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
- ・凸凹道や石だたみなどの悪路を走行しているとき



ちよつと言

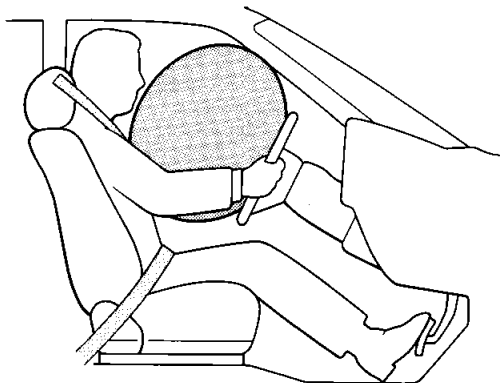
- ブレーキペダルを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これは4輪ABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。

- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。

- 4輪ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

SRSエアバッグ

グランデ、GRサルーン、GLに注文装備



SRS*エアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて顔や頭がハンドルに直接衝突するのを防止する装置です。

シートベルトは必ず着用してください。(33ページ参照)

※SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味



エアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。



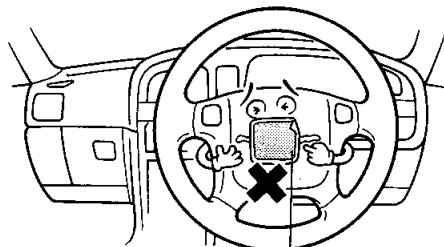
注意!

●SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置で、シートベルトに代わるものではありません。SRSエアバッグの効力を発揮させるため、次の事項を必ず守ってください。

- ・シートを正しい位置に調整する(30ページ参照)
- ・シートベルトを正しく着用する。

●SRSエアバッグを正常に作動させるため、パッド部をカバーやステッカーなどで覆わないでください。

また、ハンドルに強い衝撃を与えたりしないでください。



ステッカー

●次のような場合は必ずトヨタ販売店にご相談ください。

- ・ハンドルを取りはずすとき。
- ・エアバッグを廃棄するとき。
- ・廃車するとき。



ちよつと一言

SRSエアバッグは車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しないことがあります。

- コンクリートの壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき。
- 電柱に約30km/h以下の速度で正面衝突したとき。

なお、次のような場合は効果を発揮しません。

- 側面や後方から衝撃を受けたとき。
- 車両が横転、転覆したとき。